



裁判所

裁判所職員を志望する方のために

正義をみつめて……



あなたの青春と情熱をかけてみませんか。



最高裁判所大法廷

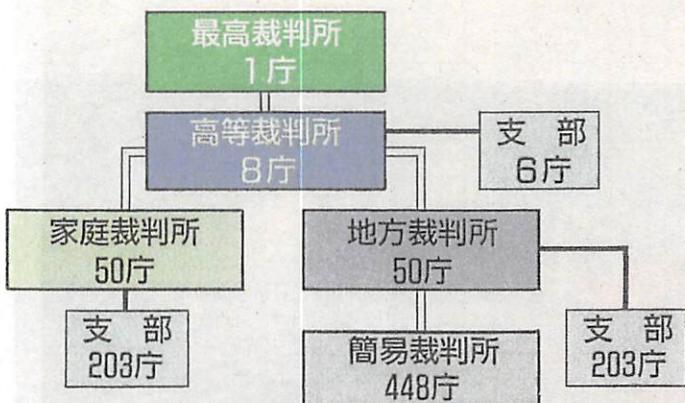
裁判所は、こんなところに

裁判所は、民事及び刑事事件の裁判のほか、行政事件も含めてすべての争訟の裁判を行っています。その裁判所が、他の国家機関や政治的、社会的勢力から干渉を受けたのでは公平な裁判を行うことができず、社会秩序は乱れてしまいます。

そのため、司法権は裁判所に、立法権は国会に、行政権は内閣にそれぞれ帰属させるという三権分立の制度を確立させるとともに、お互いにその権限を行使するに当たって行き過ぎるのを防止するため、三権相互の抑制と均衡が図られています。

また、裁判官は、法と良心のみに従って、裁判を行うべきものとされ、裁判官の職務の独立が図られています。この職務の独立は、司法権の独立といって、裁判官の身分を憲法で保障することにより守られています。

裁判所には、裁判官のほかに、裁判を直接支える裁判部の職員や裁判所の組織を支え、間接的に裁判を支える事務局の職員が大勢働いていますが、一人一人の職員みんなが、裁判の円滑な事務処理にかかわり、日本の社会秩序の維持に貢献している誇りを持って、明るく活気のある職場を作っています。



裁判所は、上の図に示される五つの種類があります。

最高裁判所は、最上級、最終の裁判所で、高等裁判所がした裁判に納得がいかない場合に申し立てる上告などを取り扱います。法律や政令が憲法に合うか合わないかについて最終的に判断を下すので憲法の番人と言われています。

高等裁判所は、地方裁判所、家庭裁判所などがした裁判に納得がいかない場合に申し立てる控訴、抗告などを取り扱います。

地方裁判所は、民事事件でも、刑事事件でも、ほとんどすべての訴訟事件の第一審の裁判を取り扱います。

家庭裁判所は、家庭に関する事件(家事事件及び少年事件)を総合的に取り扱います。

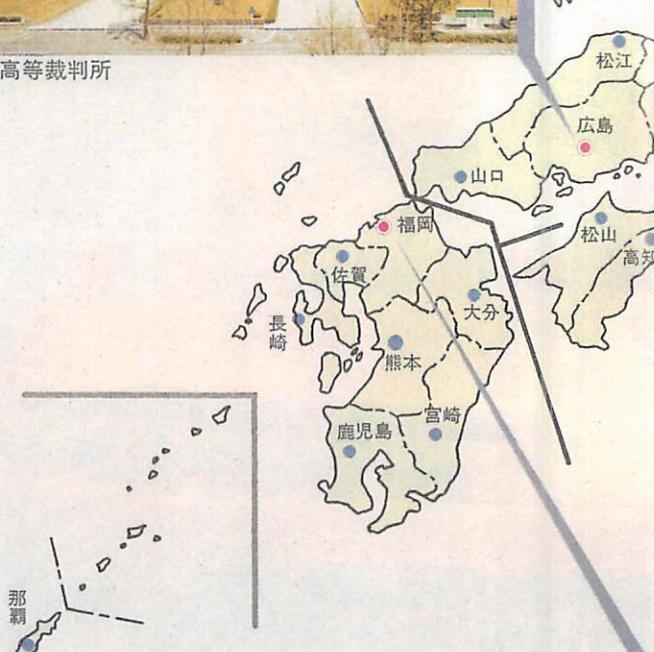
簡易裁判所は、比較的簡単な民事事件と比較的軽い罪の刑事事件の裁判を取り扱うほか民事の調停も取り扱います。



大阪高等裁判所



広島高等裁判所



福岡高等裁判所

凡例

- 最高裁, 高裁, 地裁, 家裁
- 高裁, 地裁, 家裁
- 地裁, 家裁
- 高裁界
- - 地裁界



名古屋高等裁判所



札幌高等裁判所



仙台高等裁判所



東京高等裁判所



高松高等裁判所



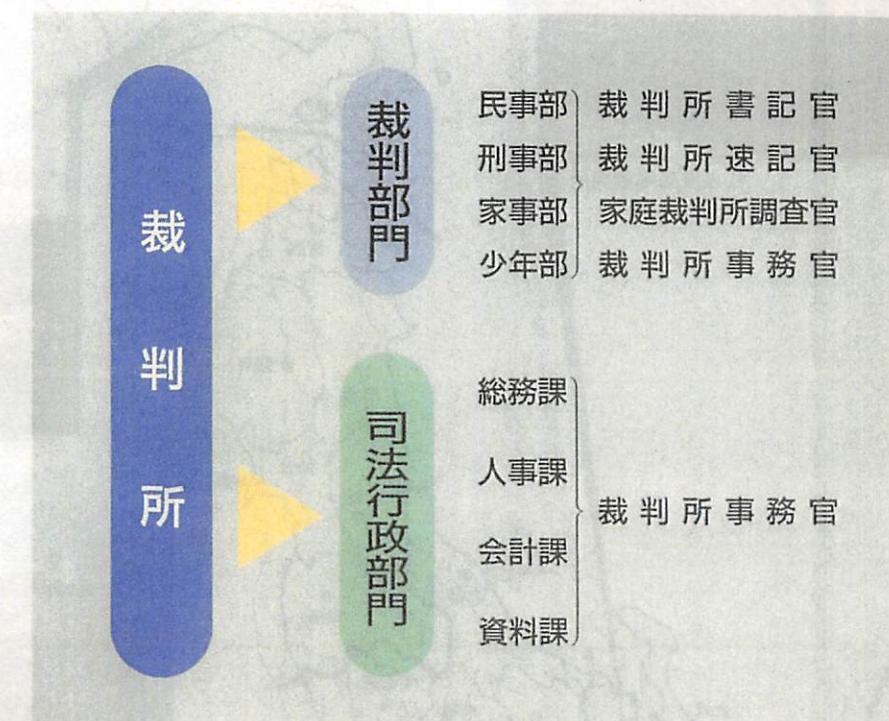
最高裁判所

裁判所には、こんな仕事が

裁判所の機構は、大別すると、裁判部門と司法行政部門に分けられます。

裁判部門では各種の事件を裁判官が審理裁判しますが、その裁判を支える機関として裁判所書記官、裁判所速記官、家庭裁判所調査官等が置かれています。

司法行政部門では、裁判に必要な人的、物的機構を供給・維持して、裁判事務の合理的・効率的な運用を図るために事務を主として行う事務局（総務課、人事課、会計課等）が設置され、裁判所事務官等がそこで職務を行っています。



民事裁判 ①裁判官 ②裁判所書記官 ③裁判所速記官 ④廷吏
⑤原告代理人 ⑥被告代理人 ⑦傍聴人

裁判所事務官

各裁判所の事務局や裁判部に配属され、総務課、人事課、会計課等の司法行政事務の全般を処理したり、民事事件、刑事事件、家事事件、少年事件等の裁判に関する事務を処理します。

裁判所事務官の中には、裁判所書記官を目指して頑張っている者も大勢います。

裁判所書記官

法律の専門家として固有の権限を持ち、この権限に基づいて法廷に立ち会い調書を作成したり、裁判記録を保管したりその他裁判官の裁判事務の補助をしたりします。

裁判所書記官になるには、裁判所書記官研修所入所試験に合格し、1~2年の研修を修了しなければなりません。

裁判所書記官は、その高度な専門性、職務の特殊性から、俸給額に一定金額が加算されます。

裁判所速記官

訴訟の審理に立ち会い、速記器械を用いて、法廷での発言の内容を逐語的に記録します。

裁判所速記官になるには、裁判所速記官研修生として採用された後、裁判所書記官研修所速記部に入所し2年間の研修を受ける必要があります。

家庭裁判所調査官

家事事件に関する各種の審判・調停事件の処理に必要な調査を行ったり、少年事件で少年が非行に至った動機、原因、生育歴、性格、生活環境等を調査したりしますが、ケースワーカーとしての能力も要求されます。

家庭裁判所調査官になるには、家庭裁判所調査官補として採用後、家庭裁判所調査官研修所に入所し2年間の研修を修了することが必要です。

家庭裁判所調査官は、その高度な専門性、職務の特殊性から、俸給額に一定金額が加算されます。



◆少年審判

- ①裁判官
- ②家庭裁判所調査官
- ③裁判所書記官
- ④廷吏
- ⑤少年及び両親
- ⑥付添人

執務をしている裁判所事務官



ソクタイプ(速記器械)

可能性に挑戦▶裁判所事務官

開放的な職場です。

裁判所書記官研修所研修生
森本 益



現在、私は裁判所書記官研修所で、裁判所書記官になるための研修を受けています。

採用されて最初の年は、東京地裁人事課で職員採用事務を担当しました。職場の上司や先輩は親切で、新人の私にのびのびと仕事をさせてくれましたし、職場の雰囲気も開放的です。デスクワークばかりではなく、試験会場を走りまわって靴をぼろぼろにしてしまうような活動的な仕事も楽しくすることができます。

意欲ある皆さんの受験を期待しています。

自分の
可能性を試す。

大阪高等裁判所会計課
裁判所事務官
牧之内葉子



私は、会計課営繕係で裁判所の庁舎や宿舎の新営工事や修繕工事に関する仕事をしています。

裁判所の仕事といえば、裁判がすべてといった感じもしますが、裁判所の組織全体を支える事務局の仕事も大切です。今後は、裁判部に配属されれば直接裁判に携わる仕事に就くことになりますし、法律の知識を生かして裁判所書記官になる道も開かれています。

裁判所は、自分のいろいろな可能性を試すことができる職場だと思います。

実務を通して
法律を学ぶ

富山地方裁判所民事部
裁判所事務官
田中 裕



私は、民事部で強制執行に関する仕事をしています。事件の当事者との応対も多く、悪戦苦闘の毎日ですが、大変にやりがいを感じています。

私は、法律の知識を眠らせることなく活性化させることのできる職場として裁判所を選びました。裁判所事務官は単なる事務屋ではありません。裁判官や書記官から意見を求められることもあります。将来は裁判所書記官を目指すこともできますし、努力次第で活躍の場が限りなく広がる裁判所は、とても魅力的な職場です。

自分を向上させる
職場

広島高等裁判所人事課
裁判所事務官
井之上幸子



私は、法律に興味があったことから、司法分野の仕事に就きたいと思い裁判所に入りました。

裁判所の魅力的なのは、社会に貢献するだけでなく、自分自身を向上させていくれる職場だということです。裁判所書記官になるという目標をもって法律の勉強もできますし、男女差もなく、すべてが努力次第です。

私は、人事課任用係で人事異動や採用試験に関する仕事をしていますが、恵まれた職場環境で充実した毎日を送っています。

様々な 人間模様との 出会い

札幌家庭裁判所家事部
裁判所事務官
木村卓司



遺産問題や夫婦間の問題など、家庭裁判所には感情的な対立が顕著で理屈だけでは解決できない事件が多くあります。事件の解決までの過程には、感動あり、涙あり様々な人間模様が描き出されます。

このような事件を扱う家事部書記官室で、事件の手続きが円滑に進むように、裁判官や書記官のサポートをするのが私の仕事です。やりがいのある仕事に就いて、「開かれた裁判所」の一員として充実した日々を過ごしています。

楽しく 充実した毎日

福岡地方裁判所人事課
裁判所事務官
山本美貴



私は、人事課で職員の給与支給に関する仕事をしています。給与データを集計して電算機に入力する仕事のおかげで、オフィスコンピューターも使いこなせるようになりました。仕事だけでなく、アフターライフも楽しく充実した毎日を送っています。

ほとんど毎日のように、新聞やテレビでは裁判の報道がされます。それだけ裁判所は常に国民の注目をあび、また評価されているのです。その裁判所を支えるひとりとなれるように、ぜひ裁判所にチャレンジしてください。

裁判所書記官を 目指して

松山家庭裁判所総務課
裁判所事務官
森 明美



私が裁判所に入ったのは、学生時代に抱いた法律への興味を、一層引き立たせてくれると思ったからです。現に裁判所では、多くの人が法律専門職である裁判所書記官を目指して勉強しています。

裁判所ではスポーツも盛んです。先日も庁内のバレーボール大会が行われ、私のいる総務課も大健闘しました。職員のチームワークの良さは、こんなところから培われているのかもしれません。

職業として、裁判所を選んだ自分の選択が誤りでなかったと実感できることに満足しています。

仕事もサークル 活動も充実

盛岡地方裁判所民事部
裁判所事務官
佐々木信一



私は高校時代から法律に興味があり、一生法律の仕事に携わりたいと、そんな気持ちから裁判所の門をくぐりました。現在は、民事部に所属し、事件の処理がスムーズにいくように書記官を補助するのが私の仕事です。

裁判所というと、堅いイメージで見られがちですが、サークル活動も盛んです。私も野球部に所属し、ピッチャーで4番バッターとしてチームへの貢献を自負しています。僕たちと一緒に、若い力で21世紀の開かれた裁判所をつくってみませんか。

事件をみつめる冷静なまなざし

書記官

初めての公判は
感動しました

神戸地方裁判所姫路支部刑事部
裁判所書記官
遠藤恭弘



私は、書記官任官後、刑事部に配属になりました。裁判に立ち会って公判調書を作成するほかに、裁判が適正かつ迅速に進行するように、検察官や弁護人と連絡をとって打合せをしたり、事件記録を保管したりするのが主な仕事です。

裁判所書記官になって、初めて公判に立ち会い、実際の裁判に関与した時の感動は、今でも覚えています。法律に関与する仕事に就きたいと考えている人にとっては、裁判所はやりがいのある仕事ができるところだと思います。



書記官

マイナス30°Cの検証

広島地方裁判所民事部
裁判所書記官
橋本 健



私は民事部の書記官です。書記官は法廷の中だけで仕事をしているわけではありません。ときには裁判所の外で仕事をすることもあります。

大型冷凍庫の中にある冷凍タラコの溶け方を実験するという検証をしたことがあります。倉庫の中はマイナス30°C。私も裁判官も防寒服を着ての作業です。あまりの寒さのためにカメラのシャッターがトラブルを起こしましたが、何とか検証を終え、結局それまで争っていた当事者もお互いに納得して、この事件は話し合いで円満に解決しました。



速記官

生きがいを感じる
仕事です。

東京地方裁判所民事部
裁判所速記官
束元美樹



裁判所速記官は、裁判に立ち会い、速記タイプライターを用いて法廷でのやりとりを速記します。そして、裁判の内容が正確に伝わるように速記録を作成するのです。

当事者にとっては、その裁判が人生を左右するほどの重みをもっています。その大事な場面に立ち会うのですから、発言者の一言一句に気を配らなくてはなりません。そのようにして裁判所速記官の手によって作られた速記録は、訴訟記録として大変重要な役割を果たすことになるのです。